



## いちばん最初の学校は、どこの国で作られたの

### 何千年も前から学校があった

最初の学校がどこの国で作られたかは、歴史が古すぎて、わかりません。少なくとも、古代エジプト(紀元前2850年ごろ～紀元前525年)や、今のイラクにあった古代バビロニア(紀元前1830年ごろ～紀元前796年)には、学校があったようです。中国でも、周の時代(紀元前1100年ごろ～紀元前771年)には、学校がありました。

### 文字を使うのが学校

人々がもっている知識や技術を、子どもから孫へと、伝えていくための教育は、どんな時代にもありました。しかし、学校ができるためには、文字が発明されることが、必要でした。文字をもった国では、王様や貴族、地位の高い役人などが、国を治めていくために必要な知識を、文字によって身につけました。そして、自分たちの子どもが、将来、自分たちと同じように、国を治めることができるよう、学校を作って、知識を身につけさせたのです。

### 宗教学校から近代学校へ

その後、儒教・キリスト教・イスラム教などの宗教が広まると、その宗教についての知識を身につけさせるために、学校が作られました。また、手工業(簡単な道具を使って仕事する、規模の小さい工業)が発達すると、その技術を教えるための学校も、作られました。しかし、学校が、身分・地位や職業に関係なく、一般の人々にも必要だ、と考えられるようになったのは、19世紀に入ってからのことです。そして、義務教育の制度が設けられるようになったのは、19世紀の後半からです。(監修・田代 脩)

